

■講師プロフィール■

(東京開催・福岡開催・大阪開催)

■基調講演



古都 賢一（東京・福岡開催）

厚生労働省老健局 振興課長

昭和58年厚生省に入り、社会・援護局施設人材課福祉人材確保対策室長、名古屋大学助教授、健康局国立病院部経営指導課施設整備管理室長、健康局国立病院部企画課 国立病院・療養所組織再編推進室長などを経て、平成16年4月に独立行政法人国立病院機構本部財務部長、平成17年8月から現職。



山本 亨（大阪開催）

厚生労働省老健局振興課 介護サービス評価推進専門官

平成2年厚生省に入省、平成4年から老人保健福祉局老人福祉計画課計画係長（老人保健福祉計画担当）平成12年から介護保険指導官、平成15年からのシルバーサービス専門官を経て、平成16年10月から介護サービス評価推進専門官（現職）。

■パネルディスカッション(コーディネーター)



樋口 恵子（東京・福岡・大阪開催）

◇NPO法人高齢社会をよくする女性の会 理事長

1956年3月、東京大学文学部美学美術史学科卒業・東京大学新聞研究所本科修了。その後、時事通信社、学習研究社、キャノン株式会社を経て、評論活動に入る。2003年3月まで、東京家政大学教授「女性と仕事の未来館」初代館長。現在、評論家・NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長・東京家政大学名誉教授・「高齢社会NGO連携協議会」代表（2代表制）。また、地方分権推進委員会、総理府男女共同参画審議会委員、内閣府男女共同参画会議議員、「仕事と子育て両立支援専門調査会」会長、厚生労働省医療保健福祉審議会委員などを歴任。著書には「チャレンジ」（グラフ社刊）、「樋口恵子の元気が出る老い方」（海竜社）、「午後咲く花」（文化出版局）、「盛年」（学陽書房）ほか多数。

■パネルディスカッション(パネラー)



大森 彌（東京開催）

◇東京大学 名誉教授

東京大学大学院修了、法学博士。専門は行政学・地方自治論。

東京大学教養学部助教授、教授、同大学大学院総合文化研究科長・教養学部長を務め、平成12年3月に東京大学を停年退職、千葉大学教授法経学部教授に就任、平成17年3月定年退職。現在は東京大学名誉教授。日本行政学理事長、自治体学会代表運営委員、地方分権推進委員会専門委員くらしづくり部会長、厚生省中央社会福祉審議会委員、厚生省地方老人保健福祉計画研究班班長、厚生省「高齢者介護・自立支援システム研究会」座長を歴任。現在、内閣府独立行政法人評価委員会委員長、社会保障審議会委員介護給付費分科会会長、シルバーサービス振興会に設置の「介護サービス情報公表調査研究委員会」の委員長。最近の著書に『官のシステム』（東大出版会）、『新版 分権改革と地方議会』など。



田中 滋 (東京開催)

◇慶応義塾大学大学院 教授

医療政策、高齢者ケア政策、医療経済学、ヘルスケアマネジメント。1971年慶應義塾大学商学部卒業、1975年大学院商学研究科修士課程、1980年同博士課程修了、この間1977年ノースウェスタン大学経営大学院修士課程修了。1977年慶應義塾大学ビジネス・スクール助手、1981年同大学院経営管理研究科助教授、1993年教授、日本介護経営学会会長、医療経済学会理事、日本ケアマネジメント学会理事。現在の主な社会活動：厚生労働省「社会保障審議会介護給付費分科会」委員、「介護施設等の在り方に関する委員会」座長代理、「介護保険事業運営懇談会」座長、「医療施設体系検討会」座長、「中医協診療報酬調査専門組織・医療機関のコスト調査分科会」会長



馬袋 秀男 (東京開催)

◇株式会社クロス・ロード 代表取締役社長

(株)ダスキン ホームヘルスケア事業部長を経て1996年4月医療法人財団河北総合病院へ入職、在宅ケアセンター副センター長。同年6月(株)クロス・ロード設立と共に代表取締役専務。2004年10月介護老人保健施設シーダ・ウォーク施設長。2005年10月(株)新生メディカル取締役副社長。2006年4月より現職。「民間事業者の質を高める」全国介護事業者協議会監事、すぎなみ介護保険サービス事業者の会代表、杉並区訪問介護事業者協議会会長、杉並区介護保険運営協議会委員。「介護サービス情報開示の標準化に関する調査研究事業」訪問介護・訪問入浴部会委員及び調査員養成部会委員、「訪問介護における介護内容調査事業」調査研究委員会委員。(平成15年～17年度)



小山 秀夫 (福岡開催)

◇静岡県立大学経営情報学部 教授

1980年 上智大学大学院博士後期課程終了(社会学・社会福祉学専攻)。1980年 厚生省病院管理研究所医療管理部研究員。1987年 厚生省病院管理研究所専攻科・研究科教育主任。1989年 厚生省病院管理研究所医療管理部主任研究官(所属機関の名称変更に伴い改称)。1990年 国立医療・病院管理研究所 マクロ経済研究室長。1992年 国立医療・病院管理研究所 医療経済研究部長(所属機関の組織編成に伴い改称)。2002年 国立保健医療科学院 経営科学部長。2006年 静岡県立大学 経営情報学部 教授。静岡県立大学大学院 経営情報学研究科 教授。国立保健医療科学院 経営科学部客員研究員。取得学位 医療福祉学博士。最近の著作に経営改善の必要と進め方(第一法規)／高齢者ケアのマネジメント論(厚生科学研究所)／これからの高齢者の栄養管理サービス(第一出版)／訪問看護ステーションのマネジメント AtoZ(医学書院)／病院のDON(医学書院)等



浜村 明德 (福岡開催)

◇医療法人 共和会 小倉リハビリテーション病院 病院長

1947年9月7日 鹿児島県鹿児島市生まれ。1975年長崎大学医学部卒業後、長崎大学医学部整形外科教室入局。長崎労災病院整形外科、国立長崎中央病院整形外科。1979年国立療養所長崎病院整形外科、理学診療科医長(1982年)。1992年4月国立療養所長崎病院副院長。1998年4月南小倉病院(2001年4月、「小倉リハビリテーション病院」に改称)院長。2000年7月介護老人保健施設「伸寿苑」施設長。現在 日本リハビリテーション病院・施設協会会長。全国地域リハビリテーション研究会世話人全国老人保健施設協会理事。日本リハビリテーション医学会評議員。主な著書に、「地域リハビリテーションプラクシス」(編著)(医療文化社)／「これからのリハビリテーションのあり方」(共著)(青海社)。「地域リハビリテーション論 Version3」(共著)(三輪書店)／「拘縮の予防と治療」(編集 医学書院)／「高齢者の暮らしにねざした機能訓練入門」等(監修 医歯薬出版) など。



栃本一三郎（大阪開催）

◇上智大学総合人間科学部教授

上智大学大学院博士後期課程修了（社会学専攻）。博士後期課程進学と同時に、社会保障研究所（現国立社会保障人口問題研究所）研究員となる。1990年から、厚生省社会福祉専門官となり、福祉8法の改正、人材確保に関する社会福祉事業法の改正、「ボランティアの中長期的振興方策」意見具申、「国民参加の基本方針」等の作業に加わる。その後、社会保障研究所主任研究員を経て、母校

の上智大学へ。

その間、参議院国民福祉委員会（現社会労働委員会）調査室客員調査員や国の審議会の委員なども務める。

また、母校の総合人間科学部教授の他、放送大学客員教授、政策大学院大学客員教授。著書は『介護保険 福祉の市民化』、共著には「高齢者福祉論」「社会政策の社会学」「積極的裁定生活保障の確立」「福祉政策1－福祉政策の形成と実施」など。



濱田 和則（大阪開催）

◇社会福祉法人 門真晋栄福祉会 総合施設長（常務理事）

特別養護老人ホームやデイサービスセンター、在宅介護支援センターなどで現場職員として勤務の後、平成5年、社会福祉法人 門真晋栄福祉会（特養）ナーシングホーム智鳥施設長、現在、同法人・施設総合施設長兼（特養）宝塚ちどり施設長。

社）大阪介護支援専門員協会 会長、日本介護支援専門員協会 副会長、社）日本社会福祉士会 ケアマネジメント委員会 委員、大阪府高齢者虐待防止在宅ワーキング会議 委員、同 介護支援専門員養成カリキュラム検討委員会 委員、同 障害者介護給付費等不服審査会 委員、社会福祉施設全国経営者協議会 介護保険事業経営に関する検討会 作業委員、福）大阪府社会福祉協議会 運営適正化委員会 委員、同 老人施設部会 運営委員、同 経営者部会 事務局長、日本経団連加盟 社会福祉懇談会 政策委員、社）シルバーサービス振興会 介護サービス情報の公表 介護老人福祉施設部会・調査員養成部会 委員、宝塚市地域包括支援センター運営協議会 委員、福）全国社会福祉協議会 地域包括支援センターのインフォーマルサービスに関する調査研究委員会 委員他

（敬称略）